



▲今年のひまわり種から搾った「みんなの手」を会場で販売しました



▲販売に、イベント運営に、たくさんのボランティアさんが活躍



▲全国の協力者さんたちから寄せられたひまわり栽培の記録展示



▲パーカッションユナイツのアフリカン太鼓演奏



▲シンガーソングライター・阿部ひろ江さんはオリジナル曲を披露

がい者施設を立ち上げ孤軍奮闘されていた立場からの話は、奥田先生との話に繋がり、会場全体が「いのち」の重みを真剣に考える場となりました。

◆13:00
仲間たちのコンサート
十三時からは、「第二十回共に生きる仲間たちのコンサート」の開演です。

第一部はゲストコンサート。今年、ひまわり応援団として京都、笠岡を訪問した「パーカッションユナイツ」と京都で活躍するシンガーソングライター阿部ひろ江さんに参加していただきました。パーカッションユナイツは、北海道の「なおこバンド」メンバーのジェラルドさんがアフリカの仲間と組んだアフリカ太鼓のチームです。ジャンベの軽快な太鼓の響きに会場は

お祭り気分が含まれコンサートは盛り上がりつつあります。その後フォーク調の阿部さんの歌声が響き一部が終了しました。

第二部は仲間たちのコンサート。手話コースから始まり福島学院大学のYOSAKOIクラブの演舞で盛り上がり絶好調となる中で二十年目の節目のコンサートは幕を閉じました。

会場と飯館村を繋ぐユーチューブによるインターネット生中継、飯館村六十年記念DVDの上映、県外支援団体からのメッセージなどがネット配信され、帰村後の飯館村のネットコミュニティとしての第一歩を歩み始める記念すべき日となりました。会場の周囲には飯館村の過去と現在を映した写真展が行われ感慨深いものがありました。

◆大活動室2
飯館村の今を考える
大活動室2では、「飯館村の今を考える」というコーナーが設けられました。シャロームが震災後続けてきた飯館村のみなさんへのパソコン教室参加者が「いいいてパソコンクラブ」を立ち上げて、来年四月以降の帰村を前に「インターネット放送局」の開局を目指すこととなりました。

◆大活動室3
災害支援センターの紹介
大活動室3では、シャロームの災害支援センターの活動紹介と保養プログラム交流会が行われました。子どもひまわり大使、保養プログラムに参加した子どもたちが集まりました。さらに本事業への協力者の皆さんも会場にお呼びしたの再会プログラムが行われました。ひまわり応援団を務めたパーカッションユナイツも参加して和やかな雰囲気の中で交流会となりました。会場内には、福島市内の公園の放射線測定結果の展示やカラーセラピー教室も行われました。

AOZの広い会場いっぱい多彩なイベントが繰り広げられ二〇〇名もの参加者を得ることができました。全国から多くの方々の参加を得て多くの交流を深めることができました。これは来年に向けての新たな活動の始まりでもあります。

このイベントが多くの人々に支えられ、多くの企業の方々に支援していただいたことに感謝しつつ「二〇一六ひまわり感謝祭&共に生きる仲間たちのコンサート」終了報告とさせていただきます。ありがとうございました。

(代表) 大竹静子

憩の仲間たちが
ひまわり情報を更新中♪

ひまわりプロジェクト
最新情報はブログ記事をご覧ください！
blog「ひまわりプロジェクト2016」
URL <http://shalom-net.jp/himawari/>



▲会場の人たちを巻き込んだのよここい！

THANK YOU

